

プロジェクト研究 「主要国における農業政策の多様化とそれを踏まえた中長期的な世界食料需給に関する研究」

令和7年度 カントリーレポート 第14号

タイ、ベトナム、中国、インド、韓国

目 次

第1章 タイ—アヌティン政権の米政策及びASEAN主要国の米需給動向— (井上荘太郎)

はじめに

1. 混乱が続くタイの政治状況
2. アヌティン政権の米政策 (New Rice Economy)
3. 東南アジア諸国の米の需給と貿易動向
4. 2026年の下院総選挙の結果について

おわりに

第2章 ベトナム—コメ輸出大国の最新事情— (岡江恭史)

はじめに

1. ドイモイ政策とコメ輸出
2. 国際米価高騰と新コメ政策
3. 近年の状況

第3章 中国—2050年「農業強国」に向けた次の五か年へ、摩擦招いても国内安定優先—

(百崎賢之)

1. はじめに—経済減速と対外軋轢の中、「強国」掲げ習体制更に先へ—
2. 2025年の中国の食糧等の生産・輸入の動向
3. 第十五次五か年計画の骨格定まる
4. 農業強国建設加速化計画のスタート
5. 「郷村全面振興」をめぐる……四か年計画と2025年一号文件
6. おわりに

第4章 インド—植物油の需給動向に関する分析—

(草野拓司)

1. はじめに
2. 主要農産物の需給動向
3. 植物油の需給動向
4. まとめ

第5章 韓国—トウモロコシの需給変動とその影響—

(樋口倫生)

1. はじめに
2. 生産量の推移
3. 韓国農業におけるトウモロコシの位置づけと輸入構造
4. 需要構造の分析
5. まとめと今後の課題